

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年4月5日(2022.4.5)

【公開番号】特開2021-104121(P2021-104121A)

【公開日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2021-032

【出願番号】特願2019-235803(P2019-235803)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月24日(2022.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者による操作対象とされる操作手段と、  
判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

前記操作手段に対しての操作受付が許容される受付許容状態において前記操作受付がなされると、該操作受付がなされたことに応じた受付後変化を実行可能な受付状態実行手段とを備え、

前記受付許容状態においては周期的变化が現れる画像表示である受付状態関連周期性表示が表示可能とされる遊技機であって、

前記受付許容状態として、

前記受付状態関連周期性表示として特定第1周期性表示及び特定第2周期性表示が表示される特定の受付許容状態、及び

前記受付状態関連周期性表示として特別第1周期性表示及び特別第2周期性表示が表示される特別の受付許容状態

が用意されており、

前記特定の受付許容状態は、特定種別の演出音が非可聴の状態にされた以降に該非可聴の状態が維持されているなかでのみ発生条件が満たされて発生可能とされるものであり、当該特定の受付許容状態が発生する場合、前記特定第1周期性表示の表示に際しては、当該特定第1周期性表示とは別の画像表示である前演出表示が表示されて該前演出表示の背後側から当該特定第1周期性表示が現れるように見える演出が実行されるのに対し、前記特定第2周期性表示の表示に際しては、当該特定第2周期性表示とは別の画像表示である前演出表示が表示されて該前演出表示の背後側から当該特定第2周期性表示が現れるよう見える演出が実行されることがないようになっており、

前記特別の受付許容状態は、特定種別の演出音が非可聴の状態にされた以降に該非可聴の状態が維持されているなかで発生条件が満たされて発生する場合と、特定種別の演出音が可聴状態にあるなかで発生条件が満たされて発生する場合との両方があるものであり、当該特別の受付許容状態が発生する場合、前記特別第1周期性表示及び前記特別第2周期性表示の表示に際しては、これらの表示とは別の画像表示であり且つそれらの表示が視認

40

50

し難くなる前演出表示が表示されないようになっており、  
さらに、

前記受付許容状態において前記操作手段に対する操作受付が複数回許容されている場合は、該操作手段を操作状態に維持し続けるだけで前記操作受付が特定時間毎になされる場合と、該操作手段を操作状態に維持し続けたとしても前記操作受付が前記特定時間毎になされない場合との両方があるようになっており、

さらに、

前記特別の受付許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動が第1変動パターンで実行されていた場合、当該特別の受付許容状態は、前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生し、前記特別の受付許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動が第2変動パターンで実行されていた場合、当該特別の受付許容状態は、前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生するものであり、

前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで前記特別の受付許容状態が発生して該特別の受付許容状態で操作受付がなされた場合と、前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで前記特別の受付許容状態が発生して該特別の受付許容状態で操作受付がなされた場合とでは、前記受付後変化として同じ様相が現れるることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような従来の遊技機では、遊技興趣の低下が懸念される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段1：遊技者による操作対象とされる操作手段と、

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

前記操作手段に対しての操作受付が許容される受付許容状態において前記操作受付がなされると、該操作受付がなされたことに応じた受付後変化を実行可能な受付状態実行手段とを備え、

前記受付許容状態においては周期的变化が現れる画像表示である受付状態関連周期性表示が表示可能とされる遊技機であって、

前記受付許容状態として、

前記受付状態関連周期性表示として特定第1周期性表示及び特定第2周期性表示が表示される特定の受付許容状態、及び

前記受付状態関連周期性表示として特別第1周期性表示及び特別第2周期性表示が表示される特別の受付許容状態

が用意されており、

前記特定の受付許容状態は、特定種別の演出音が非可聴の状態にされた以降に該非可聴の状態が維持されているなかでのみ発生条件が満たされて発生可能とされるものであり、当該特定の受付許容状態が発生する場合、前記特定第1周期性表示の表示に際しては、当該特定第1周期性表示とは別の画像表示である前演出表示が表示されて該前演出表示の背後側から当該特定第1周期性表示が現れるように見える演出が実行されるのに対し、前記

10

20

30

40

50

特定第2周期性表示の表示に際しては、当該特定第2周期性表示とは別の画像表示である前演出表示が表示されて該前演出表示の背後側から当該特定第2周期性表示が現れるよう見える演出が実行されることがないようになっており、

前記特別の受付許容状態は、特定種別の演出音が非可聴の状態にされた以降に該非可聴の状態が維持されているなかで発生条件が満たされて発生する場合と、特定種別の演出音が可聴状態にあるなかで発生条件が満たされて発生する場合との両方があるものであり、当該特別の受付許容状態が発生する場合、前記特別第1周期性表示及び前記特別第2周期性表示の表示に際しては、これらの表示とは別の画像表示であり且つそれらの表示が視認し難くなる前演出表示が表示されることがないようになっており、

さらに、

10

前記受付許容状態において前記操作手段に対する操作受付が複数回許容されている場合は、該操作手段を操作状態に維持し続けるだけで前記操作受付が特定時間毎になされる場合と、該操作手段を操作状態に維持し続けたとしても前記操作受付が前記特定時間毎になされない場合との両方があるようになっており、

さらに、

20

前記特別の受付許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動が第1変動パターンで実行されていた場合、当該特別の受付許容状態は、前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生し、前記特別の受付許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動が第2変動パターンで実行されていた場合、当該特別の受付許容状態は、前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生するものであり、

前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで前記特別の受付許容状態が発生して該特別の受付許容状態で操作受付がなされた場合と、前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで前記特別の受付許容状態が発生して該特別の受付許容状態で操作受付がなされた場合とでは、前記受付後変化として同じ様様が現れうることを特徴とする遊技機。

30

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

40

50